

HAND in HAND 06

東久留米市内社会福祉法人連絡会広報紙

みんなをつなぐ広報紙

MAY 2024

チャレンジしなきゃ、はじまらない



はじめまして！

東京都地域公益推進協議会
公式キャラクター『つつまる』です



プロフィールは、4ページをチェックしてネ

「地域連携の大切さ、ネットワークの持つ力を実感」

情報交換・交流分科会では、去る1月25日（木）、本連絡会会員法人の職員を対象に研修『災害に強い福祉施設になるために～BCPと応援職員派遣～』を開催しました。

当日は、東京都社会福祉協議会 福祉部 経営支援担当 統括主任の吉原 淳二さん、社会福祉法人 調布市社会福祉事業団 調布市知的障害者援護施設なごみ 施設長 今宮 麗子さんを講師に迎え、①東京都災害福祉広域支援ネットワークの仕組み、他地区の災害支援体制の仕組みについて、②福祉施設のBCP作成のプロセスや課題、地域での支え合いの仕組みについて学びました。

13法人13事業所から23人が参加し、日ごろから地域で連携できる体制をつくっておくことの重要性などについて意見交換しました。

■□ 参加者アンケートより □■

1. 施設種別

高齢	2
障害	9
児童	8
その他	0
合計	19

2. 法人間の良い出会いはありましたか？

あった	16
なかった	0
わからない	3
合計	19

3. お互いの強みの発見と活かす方法の共有はありましたか？

あった	15
なかった	1
わからない	3
合計	19

報告

分科会 発

このコーナーでは、3分科会それぞれの活動やその進捗状況等を紹介していきます。今回は、社会貢献分科会です！

分科会の名称が変わりました 事業検討分科会→社会貢献分科会へ

去る2月27日の第9回総会にて、これまでの「事業検討分科会」の名称を「社会貢献分科会」に変更することが全会一致で承認されました。

【これまでの経緯】

平成30年の本連絡会設立以降、当該分科会では地域の社会福祉法人がネットワークを活かして何ができるのか、市民の期待に沿う事業はどのようなものかについて検討を重ねてきました。

その結果、まずは市内のボランティアグループが取り組みを始めたフードドライブ事業に協力できないかとの声があがりました。

本格的な取り組みを始める前に課題を検証するため、まずは当該分科会のメンバーが自法人にて試行的に協力を開始し、現場職員にかかる負担等についての実際を確認しました。*検証の詳細は Hand in Hand 第5号でご覧になれます。

【まずはやってみよう】

検証の結果をもって、本連絡会全体でこのフードドライブ事業に協力すること（=本連絡会で取り組む社会貢献事業のひとつとすること）が、総会で承認されました。

【無理なく楽しみながら社会貢献・地域貢献】

協力の方法は各法人（事業所）が無理なく参加できる範囲内を想定しています。

例えば、自法人の掲示板にこの取り組みに関するポスターを貼る、目立つところにちらしを置く、おたよりに載せて利用者や家族に周知するといったことから、食品や日用品を集めるステーションとしての役割を担うなどです。

【ご協力を】

各法人にて参加協力の方法をご検討の上、ご協力をお願いします。詳細は社会貢献分科会から案内します。

社会福祉法人として
何かできることを！



試行的に事業に参加



効果や課題の検証



まずはやってみよう



フードドライブ
への参加・協力



会員法人の“わ”（会員紹介コーナー）

皆さまの「もっと知りたい、知らせたい」にお応えして、会員法人（事業所）の魅力や活動情報をお届けします。今号は、『チャレンジャー支援機構 パン工房モナモナ（神宝町2-14-23/就労継続支援B型事業所）』です。



社会福祉法人チャレンジャー支援機構は 2017 年に設立。就労継続支援 B 型事業所、グループホーム、特定指定相談事業所を運営しています。

パン工房モナモナ（就労継続支援 B 型）は東久留米市神宝町で利用者さんと職員が力を合わせパンを作り販売しています。

利用者さんは物作りが好きな方が多く、日々パンの具材や焼菓子、ケーキ作りなどの作業に取り組んでいます。

将来の夢はパン屋さん、ケーキ屋さん、ピザ職人と夢を実現するために頑張っている方もいます。

仕事ばかりではなくボウリング大会、バス旅行、カラオケ大会等お楽しみもあります。2月にはバス旅行で山梨県に行ってきました。

これからも町のパン屋さんとして地域の方々に立ち寄っていただけるよう利用者さん、職員みなさんでお待ちしております。

是非、モナモナの利用者さんに会いに来てください。

電話番号 042-420-9663



コロツケの具材に使用するジャガイモの植え付け作業



作業室の風景。商品のパンを袋づめする利用者さん

令和6年度 事業計画

先の総会で承認された事業計画。その柱となる取り組みは以下のとおりです。
22法人それぞれが持つ使命と役割（＝強み）を活かして知恵を出し合い、躍動する1年を目指します。

◇各分科会の取り組みを継続する

①社会貢献分科会（旧 事業検討分科会）

フードドライブ事業を連絡会全体として進め、定着させる
→会員法人が可能な範囲でかつ多様な関わり手法で取り組みに
参画できるよう工夫し、具体的な検討をすすめる

②広報分科会

広報紙『Hand in Hand』の発行を継続する
→会員法人で働く職員やボランティア、利用者、その家族等に連絡会の意義・目的を
浸透させることを目標に広報活動を行う。社協ホームページのリニューアルに合わせて、
同ホームページ上に連絡会ページを作成し、最新の情報を発信する

③情報交換・交流分科会

各法人事業所間の連携強化のために、情報交換交流の機会を積極的に創出する
→偶数月の第3水曜日の午後2時～3時半 定期的に集まりを持ち、分科会内での情
報交換と研修会の企画等を行う。情報交換会1回、研修会1回開催予定



事業計画の
詳細はこちら

◇活動の広がりや発展に向けて、本連絡会の対象を社会福祉法人に限らず地域のNPO法人
等に応えることについて検討する

◇令和6年能登半島地震で被災された方々が1日も早く日常を取り戻せるよう、できるこ
とを検討し、協力する

東京都地域公益活動推進協議会 公式キャラクター・キャッチコピーのご紹介



こんにちは！
ぼく、つつまるです！

★プロフィール

丸くてもちもちの風呂敷うさぎ妖精。うさぎ包みのよ
うなりボンと耳がチャームポイント。みんなの大切な
思いを包んで届けるお手伝いをしています。お届け先
の相手に抱っこしてもらおうのが大好きです！



【発行情報】

発行人 東久留米市内社会福祉法人連絡会 広報分科会 発行日 令和6年5月20日
連絡先 同連絡会事務局（滝山4-3-14 社協事務局内）
電話 042-471-0294 ファクス 042-476-4545 メール info@higashikurume-shakyo.or.jp